

# 団長の心のものさし

祝  
紙齢第20号

## 継続は力なり!?

“継続は力なり”というが、なるほど実感する。この『心のものさし』も本号で第20号を数える。早いものだ。まあ、一週間に2号出すわけだから、それなりのペースではあるが。気楽に始めたつもりが、これがなかなか大変なのだ。  
.....

まずはネタさがし、そして書く、見出しを付ける...この繰り返し。実際のところ、ネタさがしはそれほど苦労はしない。厄介なのは、書く時間がなかなか取れないことだ。ちょっと楽になってきたなあと感じ始めると、その穴を埋めるかのように別の仕事が入ってくる。とほほ...。まあ、自由業の身分なら仕方ないし有り難いことなのだが。会社勤めでないと24時間営業が当たり前なのかもしれない。

この24時間の営業中に書いている『心のものさし』は、そんな僕にとっては貴重な休憩時間なのかもしれない。やるべきことをバタバタ、次々とこなしていると、つい自分を見失いがちになるものだ。そんな時、ふと自分を見つめ直す、そんな休憩時間になっている。とはいえ、物書き

が苦手でない僕でも、なかなかハードだ。

### 無意味に続けない

紙面の内容を伝えることが本旨ではあるが、このものさしは発刊し続けることに元々の意味がある。そう簡単には続かないからだ。ただそれだけのことだ。まったく無意味な紙

面なら続くかもしれない。少なくとも続き易いだろう。継続は力であるが、もっと深く理解しようとするなら、その力に意味がないといけない。いい影響がなければいけない。

モノを作るということは偉業だ。音楽も同じである。でも、作ればいいというものではない。作ったものがどのように膨らんでいくのかを考えないといけない。必ず影響を及ぼすからだ。

私たち合唱団の関わり方にも相通じるところだ。自分たちは“好きだから”歌っている。かといって、それだけで済む話ではない。それだけで歌っていると、周囲を感じることなく横柄になっていくのである。そして技術が身につく、ますます鼻につく演奏をしてしまうのである。いつも周囲を感じる力を持たなければならぬ。それが共に歌うメンバー



長く活動しているグループだからこそ、その意味を探し続けなければならない

## うたおにの6月7日(月)の様子

### 練習内容

「Mass From Two Worlds」より  
Gloria

この日の練習はこの一曲のみ。コンクール並みの扱いだ(笑)。一つの実験だ。うたおには短期間で数多くの作品を消化する活動を中心にしている。それこそコンクールに参加していた頃とは別世界を生きている合唱団だ。まあちょっと、昔に返って手厚く(?)取り組んでみようかと。さてさてどんな成果が見れるのだろう。これもお遊びだよ。

であっても、私たちの演奏を聴いてくれる聴衆であってもだ。

### 進化していく継続しかない

前を行く人間は、何かを教えることなどしない。教えられているようでは力にならないからだ。自分がただただ進化し、その姿を見せるだけだ。そのための『心のものさし』なのだ。

どんな些細なことでもいい。あなたに出来る、うたおにのメンバーとしての継続力を見せて欲しい。